

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 002	提案機関名 神奈川県 農業振興課
要望問題名 スイートピー春咲き系品種の安定的な生産技術の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 本県では、2027 横浜国際園芸博覧会が2027年3月から9月に開催が予定されており、県の出展等において、県内主要品目や県育成品種についても積極的にPRしていく予定である。本県のスイートピーは、寒川町を中心に古くからの産地を形成している。本県の作付け品種の中心は冬咲き系品種であり、近年は温暖化の影響により、3月下旬以降の収穫量が激減しているため、県内産の冬咲き系品種を3月以降に活用することは難しいと思われる。一方、最近では温暖化に対応するため、春咲き系品種の導入が一部の生産者で行われているが、適期に開花しない等、生産技術に課題がある。 そこで、博覧会での展示に対応するため、春咲き系品種を安定的に春季に開花させる技術の確立をお願いする。	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) II 2 (1) 主要作物の高品質安定生産技術の開発 オ 花き・観賞樹の高品質安定生産技術の開発		
対応の内容等	横浜国際園芸博覧会の開催期間中のスイートピーの展示期間は、開催期間中の気温での花保ちを考えると4月までが限界と思われます。 当所では、県内のスイートピー栽培の収穫後期である3月下旬以降に安定した品質の切り花を収穫するため、冬咲き性品種と比べて草勢が強い春咲き性品種の導入が有効と考え、春咲き系品種の育成を行っており、選抜した有望系統について栽培特性を調査中です。この系統を用い、上記試験研究課題の中で3月から4月に安定した品質の切り花が収穫できる栽培法に取り組みます。		
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			